

## 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	庁舎施設維持管理事務	担当課	管財課
総合計画 政策	信頼に応える行政運営	計画期間	年度～
施策	適正な行財政運営の推進	種別	任意的事務
基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働	
予算科目コード	01-020104-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成2年10月に現在の場所に庁舎が完成し、庁舎施設維持管理事務が始まった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎や付帯設備の維持管理を業務委託により行う。            ◇ 内容 ◇            建物清掃業務、庁舎夜間警備業務、機械警備業務、自家用電気設備保安管理業務、庁舎設備運転管理業務、庁舎植栽管理業務、電話交換業務等。</li> <li>・ 庁舎施設の長寿命化を図るため、計画的に改修工事を行う。</li> </ul>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	○市役所庁舎 敷地面積：31,134m <sup>2</sup> 竣工：平成2年10月25日 延床面積：9,408.80m <sup>2</sup> 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て
(参考) 基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的な内容とスケジュール
庁舎竣工後29年が経過し、庁舎及び備品等の老朽化に伴い修繕費等が増加している。また、庁舎駐車場の不足や庁舎施設が手狭になってきている。	◇ 庁舎増築 ◇ R2…庁舎増築基本計画の策定 R3…庁舎増築 実施設計 R4～R5…庁舎増築工事 ◇ 庁舎駐車場 ◇ R2…用地取得 R3…駐車場整備工事 ◇ 修繕工事等 ◇ R2…外壁防水改修工事設計 R3…外壁防水改修工事 R1～R2…庁舎空調改修工事 ◇ その他…R4・R5予定 ◇ エレベータ交換工事 天井補強工事 庁舎電話交換機設備更新
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
計画的に庁舎の大規模修繕などを進めることで施設の長寿命化を図る。また、庁舎駐車場や庁舎の増設・増築を検討する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	庁舎の大規模修繕、増築、駐車場増設などを行うことからコストが増加する。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
策定した修繕計画を基に、大規模改修等に掛かる予算を確保する。	庁舎の適正な維持管理及び長寿命化を図るため、財政計画等も勘案し、修繕計画の見直し検討を適宜進めた。 修繕計画に基づき庁舎空調設備改修工事を令和元年度から2箇年で行っている。また、その他小規模な修繕に対応した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
突発的な修繕件数（件）	35.00	25.00	18.00	15.00	15.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	修繕計画に基づき、今後の修繕の予算確保を行うとともに、庁舎施設の大規模改修に向けて実施計画等を進めることで成果を向上する。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■拡大 □改善・効率化 □縮小 □統合 □維持 □廃止・終了	修繕計画に基づいて大規模改修を実施し、庁舎施設の長寿命化及び機能向上を図る。また、適正な維持管理が行えるよう、修繕計画の見直しを適宜実施する。				

コストの推移					
項目	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	94,650	114,399	347,489	542,301
	国・県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	180,000	299,000
	その他	3,657	3,559	3,246	3,524
	一般財源	90,993	110,840	164,243	239,777
正職員人工数（時間数）	1,172.00	1,237.00	540.00	0.00	0.00
正職員人件費	4,805	5,164	2,216	0	0
トータルコスト	99,455	119,563	349,705	542,301	343,130

## 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	普通財産維持管理事業	担当課	管財課
総合計画 政策	信頼に応える行政運営	計画期間	年度～
施策	適正な行財政運営の推進	種別	任意的事務
基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働	
予算科目コード	01-020104-02 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市の所有する普通財産（土地）を維持管理する。	業務委託により未利用地の除草等を行い、維持管理を行う。 売却可能な市有地については、入札等により売却を行い、売却ができない市有地については、賃貸等の有効活用を検討する。 『普通財産』 面積：84,243.35m <sup>2</sup> 筆数：159筆
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
利用計画のない未利用市有地については、財産の有効活用を図るために、売却し財源の確保を図る。また、業務委託により除草等を行い適正に管理する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的な内容とスケジュール
利用計画のない市有地の維持管理費用が生じている。	『市有地の売却』 ○予定地 ・久保ヶ丘四丁目28地内（約500m <sup>2</sup> ） ・百合ヶ丘三丁目字向原地内（約1781m <sup>2</sup> ） 『予定』 7～8月 売却方針の検討 9～10月 調査業務 11～12月 契約行為（入札等）の実施
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
売払可能な市有地については売却を行う。 売約可能な市有地を売却するために調査業務等の委託を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	市有地の売払いに係る経費として、不動産鑑定などの調査費を計上する。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
残っている未利用地について、売却の可能性を判断する必要がある。売却が見込めない土地については管理を必要最低限の経費で行っていく。	今年度、本町686-56の一筆を売却した。残っている未活用市有地については、管理上必要最低限度の経費で除草等の維持管理を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
貸付面積（m <sup>2</sup> ）	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00
売却面積（m <sup>2</sup> ）	387.00	0.00	7,488.23	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
□向上 ■横ばい □低下	貸付面積の増減はなかった。また、市有地の売却は都市計画道路の廃止に伴い基金から一般会計への買戻しによる売却であるため管理面積の増減には影響がない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	■改善・効率化 □統合 □廃止・終了	残っている未利用地については売却の可能性を判断する必要性があるが、見込めない状況においては管理上必要最低限の経費で適正に維持管理を行っていく。 今後は、久保ヶ丘四丁目の児童館跡地や百合ヶ丘三丁目の仮店舗跡地、そのほか売却可能であると判断した土地については、売却を行っていく。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	14,110	7,124	24,963	32,892	4,406
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,591	7,124	1,070	1,061	1,061
	一般財源	9,519	0	23,893	31,831	3,345
正職員人工数（時間数）		544.00	638.00	174.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,230	2,664	714	0	0
トータルコスト		16,340	9,788	25,677	32,892	4,406

## 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	公用車配置事務	担当課	管財課
総合計画 政策	信頼に応える行政運営	計画期間	年度～
施策	適正な行財政運営の推進	種別	任意的事務
基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働	
予算科目コード	01-020104-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
これまで部（総務部、生活経済部、都市計画課、教育委員会）に配置していた公用車について、一元的に管理することで車検や修繕等の管理の効率化を図るため、管財課で一元管理を行う（平成29年度）。また、一元管理の公用車は、予約体制（鍵の貸出等を含む）を管財課で行っている。	公用車の状態管理を行いう。また、車両の購入、廃車を行うとともに、安全確保のため任意保険の加入事務を行う。 『令和元年度実績』（年度末現在） ・公用車台数（管財課所管一元管理車両）：30台 ・任意保険管理台数：111台 （障がい者福祉センター6台分除く）
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	公用車の適正な管理を行い、効率的な利活用を進め、円滑に事務事業を進める。
（参考）基本事業の目指す姿	公有財産の有効活用と適切な管理を行う。

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的な内容とスケジュール
公用車の配置や維持管理・更新が適正に行えている。	特になし。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
特になし。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	次年度は、公用車の増減予定はない。次年度は2台の公用車の更新を予定している。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
庁舎駐車場の混雑により、公用車駐車場の各公用車の指定箇所に一般来庁者の自動車が止められてしまいうことが生じている。	公用車の管理については、一元管理方式により、任意保険の加入、車検、点検、修繕等の車両維持を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
一元管理公用車稼働率（日単位）（%）	0.00	59.74	59.04	66.00	66.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
□向上 ■横ばい □低下	公用車の管理については、一元管理方式を行っていくことにより、効率的な車両管理を行い、車両稼働率の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	■改善・効率化 □統合 □廃止・終了	各車両の使用頻度等を基に、車両の入替時期や必要台数等の車両情報の把握を行い、適正な車両管理に努めていく。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	8,419	7,989	14,274	12,181	20,627
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	222	0	348	0	0
	一般財源	8,197	7,989	13,926	12,181	20,627
正職員人工数（時間数）		1,559.00	194.00	201.00	0.00	0.00
正職員人件費		6,392	810	825	0	0
トータルコスト		14,811	8,799	15,099	12,181	20,627